



週報

入間ロータリークラブ

宮崎会長テーマ

「楽しくやろう・ロータリー」(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

2号 3343回例会 2024年 7月 11(木)

❀ 会長の時間 ❀

宮崎正文会長

今年もそろそろ土用の丑の日が近づいてきましたね。今年は2回あるそうです。7月24日と8月5日だそうです。土用の丑ってどういう意味があるのか調べてみました。

土用とは、季節の変わり目の約18日間のことだそうです。実は夏だけではなく、立春・立夏・立秋・立冬の直前に年4回あるそうです。その期間中にある「丑の日」が、土用の丑の日です。今年は、夏の土用の期間に、丑の日が2回ありますので、一の丑、二の丑というそうです。また、夏の土用の丑の日にうなぎを食べるようになったのは、「う」のつく食べ物を食べると夏バテしない」という風習が起源だそうです。皆さん、どこかで食べて元気になりましょう。

今日からのロータリーソングですが、久しぶりに「日も風も星も」にしました。基本、第一例会やガバナー公式訪問、移動例会等は「奉仕の理想」にします。後の週は、色々と歌いたいと思いますが、月に一度は「四つのテスト」も、歌うようにしますので、よろしくお願ひします。

今日初めて週報を発行させていただきました。ホームページにも載っています。よく読んでいただきたいと思います。

今日2回目の例会ですが、先週の第一例会は、ありがとうございます。いつもとは違う大勢の人数で、びっくりしました。初めての会長の仕事ということで、色々と



心配しましたが、何とかクリアできました。特に最初の開会点鐘、鐘の音が悪かったらどうしようと思いましたが、なんとかできました。そして、初めての「会長の時間」「会長所信表明」と、緊張の連続でしたが、何とか無事に終わらせていただきました。これも皆さんの温かく見守ってくれてたからだと思います。

今週9日に、田中幹事とともに「入間南ロータリークラブ」へ訪問に行ってきました。久しぶりの入間南ロータリークラブでしたが、うちと違う眺めで、新鮮でした。自分も挨拶してきましたが、壇上から見た南クラブの会員の皆さん、重鎮が沢山いましたので少し緊張しました。

例会の進め方は、うちとは少し違いました。まず、例会次第がホワイトボードではなく、プロジェクターでこの壁に写していたんです。これは、画期的でした。うちも出来るのかなと思いました。それと、タスキが新しく綺麗でした。でも、同じ席に座っていた方が、入間のタスキは伝統があるから、古い方がいいよと言ってくれたので、安堵しました。でも、新しい方が良い時もありますよね。それと、大勢の方がタスキを掛けており副SAAとか、うちのクラブにはあまり見かけないタスキがありました。何にしても、他のクラブへ行くと、新鮮な感じがします。皆さんも是非、他クラブにメイクアップに行ってください。

RCの会長の仕事には、クラブ運営という大きな責任があります。そしてクラブの自主性を活かし活性化を図るためには、強いリーダーシップが要求されるとあります。会長の特権として、例会に「会長の時間」

という時間が与えられています。この「会長の時間」は単なる挨拶ではなくて、奉仕理念を提唱するという貴重な時間だとされています。自分には到底できませんが、毎週どうしようというのが本音です。そして、会長は「会員のモチベーションを高めながらクラブを成功に導く」と、どこかの書物に書いてあり、そのような難しいことはできません。仕事は色々あり細かく見ればきりがありません。

さて、今月の特例月間は「母子の健康月間」だそうです。毎年、5歳未満で命を落とす子供は、世界で推定590万人いるそうです。その原因は、栄養失調・適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりだそうです。その予防可能な原因で母と子供が命を落とすことなどあってはならないと、我々ロータリー会員は考えています。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすくと成長できるようにする、支援だそうです。その為の、7月は「母子の健康月間」と位置づけたと思います。例として、今月のロータリーの友にもありましたが、大規模プログラムの補助金の支援により、ナイジェリアにおける妊婦の死亡率の低下を目指す取り組みをしています。そのような支援をして、住みよい世界になれば良いなと思います。

●委員長報告

【親睦活動委員会】 菅野茂実委員長

本日例会終了後、新旧役員慰労会に関しての家庭集会を行います。親睦委員の方は残ってください。よろしくお願ひします。



<ニコニコBOX> 細淵克則 SAA

- ★ 宮崎正文君、田中快枝、晝間和弘君、細淵克則君
五大奉仕委員長年度計画発表宜しくお願ひいたします。
- ★ 繁田光君
本日はよろしくお願ひします。
- ★ 宮寺成人君
旅行の写真ありがとう。
- ★ 山岸義弘君
当番遅刻しました。ごめんなさい!
本日¥9,000 累計¥62,000

●五大奉仕委員長年度計画発表●

<クラブ奉仕委員会>

繁田光委員長

今年度の活動方針は、宮崎会長年度の「楽しくやろう・ロータリー」というテーマに沿って、各会員がロータリーを理解し、より深く楽しめるような、クラブ運営を目指します。具体的な活動計画として、まず第一は宮崎年度の目標である、会員数の純増2名の達成を、会員増強委員長の馬路会員を中心に、会員選考委員会の関谷委員長、職業分類委員会の滝沢委員長と共に推進していただきます。また、広報委員会の白幡委員長には、純増2名に繋がる広報活動を推進してもらおうと共に、出席向上委員会の駒形委員長には出席率の向上、会報雑誌委員会の吉田委員長には、魅力ある会報の作成をすることにより、既存会員の退会防止に努めていただきます。そして第二は、親睦委員会の菅野委員長、プログラム委員会の細田委員長、ロータリー美術館の豊田委員長には、楽しく魅力ある例会を開催し、出席率の向上の推進につとめます。



最後に第三になりますが、ロータリー情報委員会の吉沢委員長には、例会や家庭集会を開催していただき、会員のロータリーについての理解を深めることに努めます。

<職業奉仕委員会>

間野尚委員長

最初に4/21に2570地区研修・協議会にて職業奉仕の教育を受けてまいりましたことを紹介させていただきます。ロータリークラブ設立(1905年)当時のシカゴは低欲、貧欲、腐敗が渦巻く街、初期のロータリーでは互恵的なビジネス取引が1つの中心テーマであった。ドナルドカーターはこういうクラブは会員以外の人役に立つようなことを行えば、将来性があると思います。クラブは何か公共に奉仕すべきだと思います。1910年第1回ロータリー大会お別れの晩餐会でシカゴのロータリアン、アーサー・フレデリック・シェルドンが次のようなスピーチを行った。「人は他人に利益をもたらすこと



こそが正しい経営学であるということを理解するようになります。最もよく奉仕するものが最も多く報いられるということを理解するようになります。」ロータリー哲学の進化、ロータリークラブ発足当初は会員同士の相互扶助。安心して取引や助け合いができる。会員同士だけの信頼関係の構築であったが、シェルドンは自分の利益を追求するのではなく、事業において他人の利益を優先する。高い倫理観を持って事業を営み社会に役立つ仕事をする。又、最近の職業奉仕の考え方では、自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応える事が含まれる。

現在の職業奉仕の考え方は他人の利益を優先し、高い倫理観を持って社会に役立つ仕事をする。と各時の職業の手腕を社会に役立てる。ロータリーは人づくり職業奉仕委員として人づくりを積極的に実践しましょう。内なる人づくりは、卓話・クラブフォーラム・会員同士の会社見学。外なる人づくりは職場体験・出前授業。つまり職業奉仕とは自身の利益を社会に還元するのではなく、まず人の利益を優先し、職業を通して人の役に立つ事。これが自身の意義ある事業の基礎となる。

ロータリーが他の奉仕団体と異なる最も大きな特徴は職業奉仕という理念を持っている事である。職業奉仕こそ、我々ロータリアンの大きな誇りであり、職業に倫理観を持っている事でロータリアンは世間から信頼された。ある例であるが、ロータリーバッジを着けていると各国の入国審査が甘いと言われていたと言われている。職業奉仕委員会って何をしているの？と言われたら、職業奉仕はロータリーの理念の根幹である。しかし、理念なので難しいと感じる人が多い。職業奉仕の標準的な考えを伝えるのが主な役割。職業奉仕の理念に対する理解はロータリアンの誇りとすべての奉仕活動への原動力です。

次に本題の活動方針は四つのテスト、公式標語、行動規範、中核的価値観、行動計画（指針）に基づくロータリーの理念と取り組みの再確認し「職業奉仕」に理解を深めていただき、実践してまいります。活動計画は会員に「我らの生業」を発表して頂き、その職業について学ぶ機会を作る。プログラム委員会と協力して、会員又はその他の

企業訪問を行い、会員同士の理解と親睦の場を作るです。よろしくお願い致します。

＜社会奉仕委員会＞ 間野尚委員(代読)

活動方針は「ロータリーのマジック」「入って良かったロータリー」のテーマを基に、クラブのメンバーと地域の皆様と共に奉仕活動を通じて社会貢献をする。

活動計画

1. 地区の社会奉仕活動に参加する
2. 毎年行われる「入間万燈祭り」に参加して地域とのつながりを深くする。
3. 地区の補助金、会員からの寄付などを活用し、地域の学校に教育機材の寄贈や、関係団体にスポーツの道具などを寄贈する。

＜国際奉仕委員会＞ 後藤健委員長

活動方針は国際交流・平和・親善の為に活動を推進して参ります。活動計画として1.ロータリー財団・米山記念奨学会へ寄付の継続を行います。2.米山奨学生の支援及び育成に努めます。3.地区の国際奉仕委員会活動に協力し活動します。以上よろしくお願い致します。



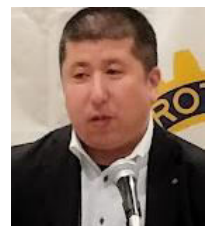
＜青少年奉仕委員会＞ 金井祐一委員長

今年度の委員は後藤賢治会員、杉田宏充会員で行います。

活動方針は地域の次世代の子ども達のために年間を通じて奉仕活動を行う。

活動計画は

1. 青少年健全育成への支援活動
 2. フードバンクへの協力
- クラブ定款の記載を見ると本来の青少年奉仕活動にそぐわないかもしれませんが、昨年のクリスマスにフードバンク活動に参加して感じたのが、入間市においても支援を必要とする家庭や子ども達が居ることに驚きを隠せず、出来ることならば継続事業としてフードバンクへの物品だけでは無く活動として支援を行いたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



＜地域交流研修会報告＞ 木下登直前会長

7/6 に行われました地域交流研修会に参加してきました。「地域交流研修会」の成り立ちについて、入間ロータリークラブ齋藤栄作パスト会長から、発起団体は、入間ロータリークラブの声掛けから始まり、入間青年会議所・入間ライオンズクラブ・入間南ロータリークラブ・所沢法人会入間支部などの団体から始まり、事務局を入間市教育委員会に置いて、会長のいない教育支援団体であります。現在では、19団体の支援と協力で、「入間の子供たちのために、地域の絆を深めよう」を基本テーマに教育支援を行っている組織である事の話がありました。更に、入間市教育長中田一平様より現在の入間市の教育環境について、プロジェクターを使っての説明がありました。続いて、場所をpleats.Iに移しての懇親会では、中学校区に別けたテーブル型式で、各団体の皆様による貴重な意見が沢山出て大変盛り上がった懇親会になりました。



＜地区の活動について＞

社会奉仕子ども家庭委員会 晝間和弘委員

社会奉仕委員会 金井統括委員長のもと今年度の子ども家庭委員会は各クラブの活動のバックアップを中心に9月1日に社会奉仕委員会セミナーを行い、11月2.3.4日の東松山スリーデーマーチでは「エンド・オブ・ポリオ」を掲げ多くのクラブ会員の参加者でポリオ撲滅チャリティーを行いますので、たくさんの参加をお待ちしております。ご協力宜しくお願い致します



財団資金管理委員会 白幡英悟副委員

年間寄付金210ドルを第3グループの中で平均210ドルを超えているのは、入間だけで、他は余り出していないのには、結構びっくりしました。今年度から210ドルを超えているクラブには地区補助金を満額1,200ドルですが、幾ら未満の場合は80%とか、そういう形で全然寄付しないのに満額っていうのは不公平ではないかと話が上がり制度を導入することになりました。



先ほどお話がありましたが、東松山スリーデーマーチに去年、財団の委員として5キロでしたが、晴れて市街地歩いたりと疲れますが楽しみました。健康増進も兼ねて皆さんと一緒に歩いて、ポリオプラスの宣伝をして少しでも寄付もして頂いて参加することに意義があると思います。そういう形で入間クラブから大勢押しかけてPRしワイワイと楽しく遣っても良いかと思えました。

＜出席報告＞ 駒形一人委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
38名	26名	72.0%	-----

事前欠席連絡 7名

■回覧、配布物

- ① フードバンクいるま受領書 6/24
- ② 8/8 ガバナー公式訪問出欠表
- ③ 9/10 チャリティーゴルフコンペご案内
- ④ 10/24-25 韓国親善会議参加の旅ご案内
- ⑤ 9/26-27 親睦旅行ご案内と出欠表
- ⑥ バギオだより Vol. 103
- ⑦ 他クラブ週報&例会お知らせ
- ⑧ Rの友電子版のID・パスワード
- ⑨ 7/27 工藤聖彦マリンバリサイタル
- ⑩ 世界ポリオデーイベントフォトコンテスト
- ⑪ 入間クラブ週報1号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

